

道徳だより

平成28年10月25日

大仁小学校・大仁北小学校・大仁中学校

各校で取り組んでいる子どもたちの道徳性を育む道徳の授業紹介します。

【大仁小学校】

大仁小学校では道徳教育の目標を「自分を見つめ 思いやりの心をもって よりよく生きようとする子の育成」として、日々の授業を行っています。

授業では、発表の中で光っている子どもたちの道徳的価値を全体に広げながら、道徳性を養うようにしています。

1年生
「生きているからうれしいんだ」の授業



自分が生きている証が黒板にずらっと並びました。

6年生
「誰に対しても相手の立場にたって親切に」の授業



自分の意見を堂々と発表する6年生「親切」とは、相手のことを考えた行動だと力強く発表しました。



授業の最後には、絵本を読み聞かせました。しっとりとした雰囲気になりました。



【大仁北小学校】

『ねらいとする価値をおさえて』

道徳の授業で扱う教材には、いろいろな価値が含まれています。

3年生の『花咲き山』には、「美しいものや気高いものに感動する心をもつ」「相手のことを思いやり、進んで親切にする」などのいくつかの道徳的価値が含まれています。この時間は、「美しいものや気高いものに感動する心をもつ」に焦点をあてました。

「みんなが美しいなあと思ったことは？」から始まり、『花咲き山』の内容から「花が咲く時はどんな時か？」を考えました。

最後に、「みんなの心にも美しい花が咲いているかな？」と問いかけることで、自分にも友だちにも美しい花が咲いていることに気づきました。



【大仁中学校】

友達と意見を交流し議論することで自分の考えを深める授業を行っています。「思いやり」の授業では、「思いやりが大切なことは分かっているけれど、行動したり言葉にしたりするのは難しい」「思いやりにもいろいろな表現がある」など、心の弱さを乗り越え、人を思いやろうとする道徳的価値に迫る発言が交わされる授業が行われました。

3年「思いやりと感謝の心が築く温かな社会」の授業



2年「さりげない思いやり」の授業

1年「責任ある行動」の授業

